

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第85号
昭和61年11月20日
発行 日野市議会
日野市神明1-12-1
電話 (0425) 85-1111
内線 445~8

第3回定例会

情報公開制度きままる

市民の知る権利を保障

昭和62年4月1日スタート

昭和61年第3回定例会は、9月8日から10月9日までの32日間にわたり開かれ、議案31件、請願11件が審議されました。
また、さる7月25日には、昭和61年第2回臨時会が開かれました。
今定例会に当初予定された、助役、教育委員の選任同意案件は上程されず、教育委員(2名)、助役は空席となりました。
会期中には、一般会計、特別会計決算特別委員会を設置し、開催しました。昭和60年度決算に対して、活発な質疑がかわされ、昭和62年度予算編成に生かされることになりました。

本会議の経過

今回の第3回定例会は、9月8日に開会されました。
8日の初日は、会期を32日間と決定し、次に市長から行政報告が行われ、これに対して10名の議員から質疑が行われました。主な質疑の項目は次のとおりです。
1 日野市基本計画の策定について。
2 日野市住みよいまちづくり指導要綱の取り扱いについて。

3 ICによる環境汚染防止の企業要請について。
4 豊田南土地地区画整理事業について。
5 市税徴収と調定について。
6 「いじめ」「非行」問題について。
7 小規模事業者育成条例の効果について。
8 浄化槽の維持管理の諸問題について。
9 循環バスの諸問題について。
10 程久保地区の町名地番変更の行政対応について。
11 多摩川サミットの目標に向

けての市民と行政の役割について。
12 財団法人東京市町村自治調査会の内容について。
9日、今定例会に提案されている、一般会計、特別会計決算を審査する特別委員会の設置と委員選任が議決されました。続いて、市長提出議案31件、請願3件が上程され、それぞれの担当委員会に付託されました。

11日・19日には、26名の議員から52件の一般質問が行われました。17日には、馬場弘融議員が大坂上中学校修学旅行について、緊急質問を行いました。19日には、6件の請願が上程され、それぞれの担当委員会に付託されました。
10月9日の最終日には、常任委員会、決算委員会の委員長から審査報告が行われ、市長提出議案28件が原案可決、認定、2件が修正可決、1件が否決となりました。

融議員が大坂上中学校修学旅行について、緊急質問を行いました。19日には、6件の請願が上程され、それぞれの担当委員会に付託されました。
10月9日の最終日には、常任委員会、決算委員会の委員長から審査報告が行われ、市長提出議案28件が原案可決、認定、2件が修正可決、1件が否決となりました。

第3回定例会の 主な議案と内容

情報公開条例 (可決)

【制定に至る経緯】 市役所が持っている文書やフィルムなどについての、市民の知る権利をどのように保障してゆくか、58年から市役所内部で研究するとともに、60年からは弁護士も含めた情報公開懇談会などで検討してきました。
【具体的内容】 ①情報を求められるもの(市民に限らず市外の方(何人)でもできます。②この条例にいう情報は、市役所が持っている文書、図画、フィルム、その他、記録としてないものも口頭で説明する努力をするようにしています。③公開から除くもの(既に法律などで禁じられているものや個人の情報などは公開から除きます。④手数料等—手数料は無料です。写しの作成、送付に要する費用は、別に決めます。
【条例の効力が出る時】 62年4月1日ですが、対象となる情報は、62年4月1日以後に市役所が作るか、得たものです。62年4月1日以前の情報は、整理の済んだものから対象とすることになっています。

助役定数条例 (否決)

【条例提出の根拠】 地方自治法第81条により、市に助役を置くことになっています。一方、同じ条文のなかで、その市の条例で決めれば、1人も置かないことも、また、反対に複数の人の助役を置くこともできるとしています。法律は、地方自治体(市)の自主性を尊重しているといえます。助役を複数人にする場合の目安は、法律上の規定はなく、この面でも議会で論議に委ねられているといえます。

【提案理由と論議】 行政改革や市役所組織の簡素化の实行、下水道整備や区画整理事業の推進に伴う交渉事などを処理するための指導力と行動力をつけるために、助役を2人にしたいとの理由が述べられました。これに対し「前助役が病氣入院等のため実質的に8カ月間空席だった。ここで2人にしたいというのは唐突すぎて理解がしにくい」等の反対意見が述べられ、挙手採決の結果、賛成少数により否決となりました。

一般会計補正予算(第3号) (修正可決)

補正総額は、7億2千670万2千円です。以下、主な歳出について説明します。

- 【歳出】 ①中央福祉センター及び公民館前の傷んだ場所の舗装(300万円)
②鹿島台地区センター付近の危険防止用フェンス設置(123万5千円)
③家畜臭気改善事業補助金の事業箇所2カ所から3箇所増等(565万円)
④日野駅ガード下の歩道拡幅新設等の関連で歩行者通行量調査(155万円)
⑤日野本町の今後のまちづくりのあり方を調査する整備計画策定調査(100万円)
⑥土地区画整理事業会計へ繰出金(3億7千230万円)
⑦東光寺河川敷の東半分の整地(6千10万5千円)
⑧仲田緑地モニュメント選考委員謝礼(13万9千円)
⑨第六小学校等の緑化(1千25万円)
⑩平山小学校校庭(元第二幼稚園跡地)2千500㎡の整地(880万円)

【原案を修正した部分】 市長提出の原案には、仲田緑地モニュメント(記念碑あるいは記念物)をつくるためのコンペ謝礼(25万円)や、設計製作代(3千万円)も計上されておりましたが、この部分は、本会議で賛成多数により減額しました。これに関連する予備費も変更しました。



初冬の白い花(さざんか)

第2回臨時会から

昭和61年第2回臨時会が7月25日に開かれ、市長提出議案1件、議員提出議案1件を可決しました。可決議案は次のとおりです。
市長提出議案
1、日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例
改正内容
①、助産費の支給を10万円から13万円、②、課税限度額を24万円から31万円、③、所得割額を10分の3.3から10分の3.6、④均等割額を3千240円から7千680円、⑤減額世帯(所得の少ない世帯)の減額は1千944円を4千608円、1千296円を3千72円に変更するものです。
適用は、昭和61年4月1日とする。
議員提出議案
1、国民健康保険事業の財政健全化についての意見書

昭和60年度

決算審査から

昭和60年度、一般会計決算特別委員会が、9月26日、29日、30日に、特別会計決算特別委員会が、10月7日に開かれ、慎重な審査が行われました。

両特別委員会の審査は、市長、収入役、教育長、担当部長、収入役、教育長、担当部長を説明員に招き、活発に質疑、審査が進められました。審査の過程は、昭和60年度予算の見積りに遺漏がなかったかどうか。また、財政の健全性の原則が守られていたかなどを中心に審査が行われました。さらに決算期間における、行政活動についても、市民が

一般会計決算

委員長報告

鈴木美奈子委員長の審査報告の概略は次のとおりです。はじめに、歳入全般について審査内容が報告され、市税の不納欠損、資金の運用、国及び都補助金などの審査状況の報告が行われました。続いて、歳出については、議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農業費、商工費、土木費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費の各項目ごとに順次、審査内容が報告されました。主な報告事項は次のとおりです。職員の給与問題、動く窓口車の存廃、行政改革、高齢者対策、住環境整備、下水道整備、教育問題など多くが審査された旨の報告がありました。

特別会計決算

委員長報告

谷 長一委員長の審査報告の概略は次のとおりです。特別会計は、8種類の事業会計で構成されており、順次この事業会計ごとに審査状況が報告されました。事業別決算は、次のとおりです。

- 1、国民健康保険特別会計
歳入 31億723万1千59円
歳出 30億6千25万5千14円
- 2、土地区画整理事業特別会計
歳入 24億1千488万7千588円
歳出 22億4千83万2千618円
- 3、下水道事業特別会計
歳入 18億4千786万4千784円
歳出 18億3千396万3千734円
- 4、市立総合病院事業会計
収益 23億6千743万7千118円
支出 21億5千419万8千956円
- 5、受託水道事業特別会計
歳入 11億9千622万6千839円
歳出 11億9千622万6千839円
- 6、農業共済事業特別会計
収入 1千959万8千651円
支出 1千909万3千82円
- 7、老人保健特別会計
歳入 28億5千382万8千648円
歳出 28億1千32万9千767円
- 8、仲田緑地用地特別会計
歳入 7億2千321万7千376円
歳出 7億2千321万7千376円



一般会計決算審査風景

各会派の意見

(一般会計決算総括意見要旨)

日本共産党

(賛成)

日本共産党日野市議団を代表して、昭和60年度一般会計決算を認定する立場で、意見を述べます。

昭和60年度の国家予算は、臨調行革路線を進めて4年目にあつた年でありました。行革路線がスタートし、年々マイナス・シーリングが続く。国民生活を守る施策が、きく削り取られた年でもありました。

すなわち、社会保障、教育、農業、中小企業などの国民関連予算が削り込まれた反面、軍事、経済、エネルギーなどの大企業向けの予算が大幅に伸びたことが特徴的でありました。

これら国の施策により、地方自治体への補助金の一割一割カットなどの削減が行われました。日野市においても、福祉や教育、下水道事業に至るまで、過去4年間で5億2千300万円もの補助金が削減されました。この状況の中で、日野市の施策は、平和事業の推進、根拠改修、ゴミ焼却施設の新設、中学校給食の実施など、積極的に市民要望に応えるべく努力された事に評価するものです。

市民クラブ

(賛成)

市民クラブを代表して、昭和60年度一般会計決算を認定する立場から意見を述べます。

現状の経済は、円高不況が進む中で、企業努力にもかかわらず、赤字経営、失業等雇用問題が深刻化しておりあります。

さらに低成長経済の中で、高齢化社会への対応、福祉の水準の維持、都市基盤整備の促進などの重要課題をかかえています。

60年度の施策の中では、住みよいまちづくりの推進、健康と福祉のまちづくり、医療体制の充実、学校施設整備と中学校給食の開始など、市民要望の行政施策を進展し、対応が出来た事について、市長はじめ全職員の苦勞に対し、深く敬意を表するところであります。そして、これらの施策が実施された事に、評価をするものであります。

昭和60年度一般会計決算を踏まえ、今後の問題点を指摘し、意見といたします。

- ① 職員の効率的業務の推進
- ② 小中学校給食職員のパート化の導入
- ③ 道路、公共下水道、区画整理事業の早期実現への努力
- ④ 福祉施策の充実と拡大

以上の意見は、市民クラブとしての政策の一環であります。今後、新年度予算の編成にあたり、指摘事項が十分反映されることを要望し、市民クラブの意見とします。

公明党

(賛成)

公明党を代表して、昭和60年度一般会計決算を認定する立場から意見を述べます。

最初に歳入を取り上げます。○ 対59年度決算比では、約10億円の増加ですが、企業の

転出等が原因で税収が伸び悩んでいます。今後、収入を増やす一方策として、収益性の高い企業の誘致を進める必要が求められます。

- 市にある現金を効率よく運用し1億3千万円の利子を生み出した努力を評価します。
- 市に於ける現金を効率よく運用し1億3千万円の利子を生み出した努力を評価します。

次に歳出関係では、

- 下水道施設が進み、百草、落川の一部地域で利用が出来るようになっています。
- 市民会館、こみ焼却炉など継続中の施策も順調でした。
- 私立幼稚園保護者補助の増額、無届け浄化槽清掃費の助成、病院へのCTスキャナーの設置など施策の充実も見られたと思います。

最後に要望を述べておきます。○ 市税の不納欠損額は、6億4千300万円でした。担当部局が色々と対応しているのは知っていますが、更に努力していただきたい。

○ 社会経済情勢、財政事情等は、厳しく、行政の減量化、効率化により健全財政の構造確立が求められる。そのためには、OA化、電算化、パートの活用、民間活力の導入などで職員定数増を最小限にする一層の努力を求めたい。以上、意見とします。

革新クラブ

(賛成)

革新クラブは、1985年度一般会計決算の認定に賛成します。

この1985年度も多くの施策が実行され、成果を上げ得たと思います。特筆すべきは、市役所職員が実質的「賃下げ」の昇給6カ月延ばしにもめげず、よく働いたことです。



一般質問要旨

馬場 繁夫
(公明党)

高齢化社会にむけての課題と老人福祉施策の充実について

問1、老人福祉施策の長期、短期計画の策定を問う。
問2、在宅老人看護の労苦から解消する施策を問う。

答、福祉部長

答1、現在、企画財政部で、総合的な基本計画を考えています。この計画に、長・短期の福祉施策を反映していきたいと考えています。又、老人福祉行政を進める組織の見直しを図っていきたく思います。

答、市長

答2、有料ヘルパー制度、緊急通報システムは、早急に必要があるので、直ちに取組めます。地域的に老人福祉行政を展開し、市民サービスに努力していきます。

金融行政（税金の効率的運用）について

問、今回の定例会に助役を2人制にする議案が提出されている。私は、その定例会に出

石坂 勝雄
(自由市民会議)

助役の定数（2人制）の条例について問う

問、今回の定例会に助役を2人制にする議案が提出されている。私は、その定例会に出

された議案について通告質問をするのは初めてだ。本来なら一般質問で取り上げるのをためらう私が今回それをするのは、次の理由によるものだ。

①助役職は前助役の入院等もあり、実質的には8カ月空席だった。それなのに、ここで助役が2人ほしいという。余りに唐突だ。

②市長の真意がどこにあるかわからない。

市長は、これらの疑問に答えてもらいたい。

答、市長

行政改革の折にどうして助役の増員かとの意見もあるかと思う。市民に対して、助役を2人にするという提案は、恐れ多いと考えています。しかしながら、それでもなお提案する理由があります。今迄の市の仕事であれば、今迄の市の仕事でやっていけます。助役不在中は、職員がよく頑張ってくれました。今回の提案は、市が直面している都市基盤整備事業（区画整理、下水道等）、行政改革の推進、オフィス・オートメーションを中心とする行政事務の見直しの問題などで、日野市民の要望に早く応え、成果を上げるために市役所の指導陣の増強を図ることを目的としています。

それ以外を意図したものではありません。

答、市長

答4、長期財政計画の中で、むだを省き、非効率を廃し、議員の提言を生かした行政財政を進めてまいります。

答、市長

答3、35年位先には、老人人口のピークをむかえ、市民の20%前後が老人となり、この25%位が特養老人ホームの入所希望者と考えられます。

答、市長

答2、長期財政計画の中で、むだを省き、非効率を廃し、議員の提言を生かした行政財政を進めてまいります。

答、市長

答1、現在、入院患者で13名程度、通院患者で、1日50名程度あります。

答、建設部長

日野台二丁目補助7号線の交通安全対策は、警察とも十分協議して対応します。西平山五丁目山王前1号線の整備は、付近の住民と話し合いながら対応してまいります。

答、市長

答2、今、病院内の少いスペースを使い、マッサージ等は行っているが、今後は理学療法士をおき、回復効果の高いものを選びたい。市民要望に

答、市長

答1、入院や退院後の通院患者で、機能回復を必要とする方々は、何人くらいか。

問2、最少限のリハビリ施設をもつて、市民要望に

山口 達夫
(自由市民会議)

行政改革の積極的推進について問う

問、行革は極めて大切で、全



問1、本年度の法人市民税の見直しを問う。

問2、公債費の償還計画を問う。

問3、高齢化への見直しと、特養老人ホーム入所希望者の見直しを問う。

問4、現在の施策を執行する

と将来、財政破綻を来すのではないかと。

答、市長

答1、法人市民税は景気の浮

沈で左右され、現在の予想では当初予算より、5億位落

込むと思われる。

答、企画財政部長

答2、15年から20年先の財政

計画を立て、繰り上げ償還を

できるだけ行い、将来を予測

していきたいと考えます。

答、福祉部長

答3、35年位先には、老人人

口のピークをむかえ、市民の

20%前後が老人となり、この

25%位が特養老人ホームの入

秦 正一
(公明党)

市立総合病院に理学診療科の設置について

問1、入院や退院後の通院患

者で、機能回復を必要とする

方々は、何人くらいか。

問2、最少限のリハビリ施設

をもつて、市民要望に

答、市長

答1、現在、入院患者で13名

程度、通院患者で、1日50名

程度あります。

答、建設部長

日野台二丁目補助7号線の交通安全対策は、警察とも十分協議して対応します。西平山五丁目山王前1号線の整備は、付近の住民と話し合いながら対応してまいります。

の解決に先だつ課題だ。そのための第一歩が市役所職員定数の削減にあるのは論をまたない。ところが市長は職員定数を増やす提案をしてきた。行革の内容が決っていないこの時期に、どうして増員の提案なのか、理由を聞きたい。

答、市長

行政改革という観点から市政を見直すのは必要です。しかし、必要最小限のものは市民要求に答えねばなりません。この危険の解消に努めていきます。

理由としては、①市が建設

途上例、下水道で、避けて

通れない市の特別な事情、

②新施設建設の人員が必要、

③就職の解禁が例年より早ま

り、市としても人材確保の必

要があったとあります。

日野市民の生命財産を守るための総合的防災対策について問う

答、生活環境部長

市は日野市地域防災計画を作り、対策をたてています。主なものは次のとおりです。①災害危険区域の調査

調査の結果、南部丘陵地帯の

落川、平山六丁目、南平二丁

目の各一カ所、計3カ所を危

険として都に報告しました。

この危険の解消に努めてい

ます。②飲料水・停電しても

自家発電で市民に水をお届け

します。③食料・市役所本庁

舎と南平の倉庫に備えてあり

ます。今後、倉庫を更に増や

す計画です。

やす提案もされている。私は必要に応じての提案が適当と思う。市の考えはどうか。

問3、民間活力の導入。最近

は民間委託の方が市営より

評判が良いといわれている。

日野市で民間委託を更に広

げてゆく考えはあるか。

答、市長

答1、行革を進めるため

に、一時、助役2人制にし指

導力を高めた。より大きな

仕事に取り組むために、し

ばらくの間、力が必要とい

うこと。

答2、単純な作業については、

機械化とか委託化を徹底さ

せたいと考えています。行革

の中味として、市役所の部

の再編成もしていきたい。

答、総務部長、教育長

答2、現在考えられる最低限

度の必要人員を提案しました。

をどう考えるか問う。

答、教育長

問1、小学校全体では、クラ

ス数より、12教室多くなるが、

管理教室、特別室として利用

しており、空き教室にはな

っておりません。

答、市長

答2、地域のコミュニティや

PTAなどに利用されると良

いと考える。

川嶋 博
(市民クラブ)

助役2人制と行政改革について

私は、あえて行革と表現せ

ずに「仕事の見直し」とい

っている。見直しは、いつの

代にも必要と思う。この考

えに立ち、更に21世紀にお

ける市に必要だと思う。市

の運営にも思いをはせなが

ら、次の質問と提案をしたい。

問1、助役・市長は今回の定

例会に助役を2人にしたいと

提案している。私は今の1人

馬場 弘融
(自由市民会議)

市民会館、開館1年の実績を問う

問1、1年間の利用状況、収

支、利用者の声はどうであ

ったか問う。

問2、今後の市民会館の運

営を問う。

答、生活環境部長

答1、1年間に19万8千82名

の方々が利用され、使用料は

管理運営費の26・8%にあた

ります。利用者のアンケート

結果は良い方と思われる。

夏井 明男
(公明党)

多摩平処理場用地の将来計画

多摩平下水処理場跡地（見込）は、全市民的な場所と

答、市長

多摩平下水処理場跡地（見

込）は、全市民的な場所と

答、市長

多摩平下水処理場跡地（見

込）は、全市民的な場所と

答、市長

多摩平下水処理場跡地（見

込）は、全市民的な場所と



ひがなばなが咲く

米沢 照男

(日本共産党)

宅地造成規制と緑地保全について

南平二丁目1番地の22先、熊野神社境内北側斜面の宅地造成計画であります。この土地は過去、昭和53年11月、ミナミ企画と言う会社が開発を計画し鈴木独歩と言う会社が事前協議にまいりました。その翌日樹齢60年とも70年ともいわれる桜の木、7本を伐採しました。

この時点で地元住民から緑の保護、開発の反対の請願・陳情が提出され、当時の議会もこれを採択しております。しかし、これに対抗するかのよう、54年3月1日にフルトザーが入り工事が強行されましたが市が工事中の中止命令を出し、工事をストップしたという経過があります。問、今回の開発行為の申請等に市はどのように対処して行くか問う。

答、今、計画されている南平自然公園と隣接するこの土地の緑を守れ。

答、都市計画課長

答、現在、開発行為申請は都に提出されており、都とも十分連絡をとって、地元住民の要望に沿うよう、開発業者を指導してまいります。

答、市としてはこの用地を買収する予算がありません。開発行為の許可がおりた場合は、業者に対し、植樹、ガケ崩れ防止、住民のプライバシー保護、排水の問題等、事前協議の中で、開発要綱に沿って十分に業者を指導していくよう努力します。

奥住 日出男

(市民クラブ)

首都改造計画に基づく都市整備事業について

問、この計画は、昭和60年に国土庁から長期構想として発表された。この計画に基づいて、市の整備構想を作る考えはあるか。

答、市長

日野市のめざす都市像を57年12月に「第二次基本構想」として公表しています。その内容は緑と文化の市民都市をつくることとあります。

私は、この路線に沿ったまちづくりを進めることとよいと思っております。

一方、例えば首都圏の中の日野市というところからみて、経済動向や国の政策の影響もあり得るわけです。

答、企画財政部長

首都改造計画には、いろいろな内容が含まれています。今後、中身を研究し、国や都にその都度要請などをしていく

61年度地区センター建設予算の執行について

問、この問題については、61年4月の市議会で、古賀議員が取り上げている。その後、建設予算の使い先がどう決つたかを具体的に聞きたい。

答、生活環境部長

設置場所は、まだ、はっきりと決つてはいません。優先順位が高い地域は、建物のある平山苑と、59年9月に「整備の請願」が提出されている日野台二丁目二つです。今、平山苑について用地交渉を行っています。



高橋 徳次

(自由市民会議)

高齢化社会をむかえて特養ホーム又は中間施設の建設とそれに対するボランティア活動活性化について市の対応を問う

答、福祉部長

日野市においても高齢者が増加する中で、早急に特養ホームの建設が必要であると考

え、検討に入っております。また、議員の提言にある中間施設も都と協議しながら、建設に努力してまいります。

ボランティア活動の活性化は、無料のボランティアでは対応ができません。今後は、各方面のボランティアにお願

いし活性化を図って行きたいと考えます。

問、東西平山の区画整理計画の見直しについて問う。

問、長沼橋に通じる道路拡幅について問う。

問、3、浅川処理区より八王子処理区への一部処理区域の変更は可能かを問う。

答、区画整理課長

答、1、西平山地区の65ヘクタールについて本年11月から12月にかけて地元説明会を開く予定にしています。都市計画決定は、63年をめどにしてい

ます。

答、建設部長

答、2、区画整理事業で道路拡幅を考えています。

答、下水道課長

答、3、下水道の下水処理は、日野市全体計画の中で考えており、変更は困難です。

福島 盛之助

(自由市民会議)

栄町、新町地区まちづくりの構想について

問、この地域は人口が増えているが、いろいろ遅れていることがある。当面する課題の東光寺上農地、幹線道路整備などへの対応を聞きたい。

答、市長

1、東光寺上農地のことは、地元と十分協議し、その意向に沿うよう努めていきます。

答、建設部長

2、水防上、多摩川の中央線鉄橋上流部分は大切と考え、建設に改修を求めています。

答、都市計画課長

3、栄町五丁目から栄町一丁目迄は、いわゆる2・2・11号線の一部として、既に20mが整備済みです。更に整備を進めるよう東京都へ要望します。

1、日野台二丁目から栄町五丁目迄の2・2・9号線は東光寺坂の傾斜をどうするか等の問題の整理に着手しました。

東光寺グラウンド建設について

問、以前から市民の関心も高い問題だ。市は市民の期待に十分にこたえてもらいたい。

答、企画財政部長

61年3月に整地等を終え、今までは子供供野球場が一面ですが、近隣の地主さん方の協力を得て、面積を更に広げるよう努めています。

八王子処理場の進捗状況について

答、下水道課長

今は設計の段階です。稼働は66年度と見込まれています。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

乳児医療無料対象年齢を4歳児まで引き上げよう

問、4歳児まで引き上げられるか問う。

問、医師会との協議に入る予定があるか問う。

答、福祉部長

答、1、対象年齢を4歳児まで引き上げるとすると、60年度を基準にした場合、1億7千万円ぐらい必要となり、一挙に引き上げるのは財政的に困難と思われる。

答、2、実施には医師会の協力が不可欠ですので、実施を予定する場合は協議します。

老人アパート制度の実施について

問、老人アパート制度は実施できるか問う。

問、市営住宅建て替え時に、どれくらいの戸数ができるのか問う。

日野市では、開発企業をあ



る程度指導するために、なお自分の間、公共、公益施設費の業者負担も含め、この制度を守っていきたく考えています。市民の理解が得られる道を進みたいと思います。

市道の整備計画を問う

問、よりよい市民生活を営み、生産活動を行うには都市基盤の整備が大切だ。その筆頭は道路だと思つた。

答、市長

市民感覚からみて不公平にならないようにしていきたい。60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

「いつ、どの様に」という具体的な内容をいま検討中です。が役に立つよう努力します。

答、建設部長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

必要がある場合、派遣制度の助けがシステムがあれば良いと考えるので、今後の研究課題とさせていただきます。

答、市長

答、3、婦人の地位向上には、努力してきましたが、今後も市政に婦人の声が反映されるよう努力します。

市民の健康増進(特に婦人)について

問、主婦の誕生月検診、自宅での大腸がん検診について問う。

問、2、生活保健相談センターについて問う。

答、生活環境部長

答、1、現在、35歳以上の男女の希望者は、年2回健康診断は行っていますが、誕生月検診、大腸がん検診は検討してまいります。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

答、市長

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。

60年3月に日野市道の幹線道路網見直し調査をしました。



緑化センターの菊

いる場所への対応を問う。

答、市長

条件が揃えばゴミボックスを置きます。問題がありそうな場所は現地を調査して、適切な対応をしていきます。

南平体育館の連立開放を望む

答、教育次長

公益を目的として、広く一般市民を対象とした大会などの場合には、優先的に貸し出します。しかし、通常の練習等は、他の体育団体との均衡上から、体育連盟だけを優先することはできません。

特別養護老人ホームの建設について

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

答、市長

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

62年度予算で第一段階用の経費を用意したい。高幡の地域にまず建てたいものです。

谷 長一

(自由市民会議)

人々に健康で爽快な感覚を与える森林公園をつくれ

長い歴史の中を現在まで保

1、定例会の議案、請願、陳情の上程日と決められたる前までに受け付けしたものは、議案、請願、陳情の上程日に議長から関係委員会へ付託します。

2、付託された委員会は、内容を慎重に審査し、採択すべきか不採択すべきか決定し、議長に報告します。

3、議長は報告に基づき本会議の議題とし、議会が採択不採択の決定をします。

なお、会期中に委員会が結論を出すことが困難な場合は次回定例会まで継続審査とします。

編集後記

定例会中元氣一杯で働いていた、鈴虫やゴキブリも山々の雪覆りが属くようになった今日この頃は、すっかり耳にしなくなりました。

早いもので、やがて木枯らしが吹きすさぶ冬の訪れとともに今年も暮れに行きます。

毎日忙しい私達は身近な変化に追われがちですが、たまには澄みきった空気の中で、刻々と変化する雪化粧の峰々を遠望するゆとりをもちたいと思っております。

次回定例会は12月を予定しております。今後もわかりやすい紙面づくりを努めてまいります。